



# FUJISOFT 創立40周年

おかげさまで40周年。

# 40<sup>TH</sup> ANNIVERSARY

新たな思いとともに。

## 2011年3月期 第1四半期 決算説明資料

2010年 8月 4日  
富士ソフト株式会社

連結業績ハイライト	P. 1
連結分野別売上高	P. 2
グループ上場会社売上高	P. 3
連結販売費及び一般管理費	P. 4
連結営業外損益の主な変動要因	P. 5
連結貸借対照表	P. 6
連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
連結ソフトウェア開発関連の受注高・受注残 トピックス	P. 8 P. 9,10



# ● 連結業績ハイライト

## 売上高は、概ね計画通りだが、「MATLAB」の販売終了に伴う減収を主因に前年比 8.9%に

売上高は、前年同期比で31億円の減収( 8.9%)となりました。サイバネットシステムが前年の6月末で販売終了した解析ソフトウェア「MATLAB」の減収が主因ですが、概ね計画通りの売上高です。「業務系ソフトウェア開発」は、引き続きIT投資抑制の影響を受け売上高は前年同期を約10億円下回りましたが、「組込系ソフトウェア開発」はデジタルテレビ等のソフト開発が好調に推移しました。

## 販管費の抑制により、営業利益66百万円を確保

営業利益は、技術者の外注比率見直しや販管費の抑制により、前年と同水準を確保することができました。法人税等調整額の減少により、四半期純利益は4億円の増益となりました。

(単位:百万円)

	2011年3月期 1Q 実績	2010年3月期 1Q 実績	前同差	前同比
<b>売上高</b>	<b>32,775</b>	<b>35,958</b>	<b>3,183</b>	<b>91.1%</b>
<b>営業利益</b>	<b>66</b>	<b>65</b>	<b>1</b>	<b>101.6%</b>
営業利益率	0.2%	0.2%	+ 0.0%	-
<b>経常利益</b>	<b>83</b>	<b>40</b>	<b>43</b>	<b>207.7%</b>
経常利益率	0.3%	0.1%	+ 0.1%	-
<b>四半期純利益</b>	<b>488</b>	<b>59</b>	<b>429</b>	<b>822.5%</b>
四半期純利益率	1.5%	0.2%	+ 1.3%	-



# ● 連結分野別売上高

(単位:百万円)

	2011年3月期		2010年3月期		前同差	前同比
	1Q 実績	構成比	1Q 実績	構成比		
売上高 合計	32,775	100.0%	35,958	100.0%	3,183	91.1%
ソフトウェア開発関連	25,554	78.0%	28,442	79.1%	2,887	89.8%
組込系ソフトウェア開発	8,922	27.2%	9,321	25.9%	398	95.7%
業務系ソフトウェア開発	10,388	31.7%	11,412	31.7%	1,023	91.0%
その他ソフトウェア関連	6,244	19.1%	7,709	21.4%	1,465	81.0%
アウトソーシング	6,150	18.8%	6,468	18.0%	318	95.1%
その他	1,070	3.3%	1,047	2.9%	23	102.2%

## 分野別売上高のポイント

### 組込系ソフトウェア開発

「通信制御系」は依然厳しい状況であるものの、前年度に比べ減少幅が縮小しています。また「その他組込系」は、デジタルテレビのソフトウェアが好調に推移しました。

### その他ソフトウェア関連

サイバネットシステムにおいて前年同期まで販売していた「MATLAB」の販売終了に伴う減収を主因に、大きく減少しました。

### 業務系ソフトウェア開発

金融業分野が好調だったものの、昨年好調だった流通業分野の反動と、製造業分野の引き続きIT投資抑制による影響を主因に、大きく減少しました。

### アウトソーシング

データセンタービジネスは好調なもの、特定顧客のシステム運用減少に伴い、売上が減少しました。



# グループ上場会社売上高

(単位:百万円)

	2011年3月期 1Q 実績	2010年3月期 1Q 実績	前同差	前同比
富士ソフト(東証一部)	15,801	16,391	589	96.4%
サイバネットシステム(東証一部)	3,636	5,078	1,441	71.6%
ヴィンキュラム ジャパン(JASDAQ)	2,173	2,337	164	93.0%
サイバーコム(JASDAQ)	1,272	1,528	255	83.3%

## グループ上場会社売上高のポイント

### 富士ソフト

組込系ソフトウェア開発は前年を上回ったものの、業務系ソフトウェア開発において製造業等が前年を下回りました。

アウトソーシングは、前年を大きく上回りました。

### ヴィンキュラム ジャパン

システム保守・運用が堅調に推移し、新規連結子会社のエスエフアイが収益に貢献したものの、前年1Qの大型案件の反動により、前年を下回りました。

### サイバネットシステム

前年6月まで販売していた解析ソフトウェア「MATLAB」以外の分野に関しては売上が大幅に伸びたものの、同ソフトウェア販売終了による減収により、前年同期を大きく下回りました。

### サイバーコム

引き続き、組込系ソフトウェア開発における発注の規模縮小、時期延期、凍結の影響により、売上高が減少しました。



# 連結販売費及び一般管理費

(単位:百万円)

	2011年3月期 1Q 実績	2010年3月期 1Q 実績	前同差	前同比
<b>販売費及び 一般管理費</b>	<b>7,280</b>	<b>7,768</b>	<b>487</b>	<b>93.7%</b>
<b>人件費</b>	<b>4,579</b>	<b>4,572</b>	<b>6</b>	<b>100.1%</b>
【主な科目】				
給与・賞与	3,380	3,300	79	102.4%
福利厚生費	162	257	94	63.3%
<b>経費</b>	<b>2,701</b>	<b>3,195</b>	<b>493</b>	<b>84.6%</b>
【主な科目】				
採用研修費	15	76	60	20.3%
教育訓練費	80	202	121	39.9%
地代家賃	271	333	61	81.6%
調査研究費	119	228	109	52.2%
事務委託費	367	496	129	73.9%

## 主な科目の変動要因

**福利厚生費** (前同差 94百万円)  
各種福利厚生制度の見直しに伴う減少 (団体生命がん保険の解約)

**採用研修費** (前同差 60百万円)  
**教育訓練費** (前年差 121百万円)  
新卒、中途採用数の減少に伴う採用・教育コストの減少

**地代家賃** (前同差 61百万円)  
自社ビル利用率向上に伴う、社外賃貸オフィス利用の減少

**調査研究費** (前同差 109百万円)  
ロボットテクノロジー関連の初期研究開発完了に伴う減少

**事務委託費** (前同差 129百万円)  
業務効率化に伴う委託業務の減少

# ● 連結営業外損益の主な変動要因

(単位:百万円)

	2011年3月期 1Q 実績	2010年3月期 1Q 実績	前同差	前同比
<b>営業利益</b>	<b>66</b>	<b>65</b>	<b>1</b>	<b>101.6%</b>
営業利益率	0.2%	0.2%	+ 0.0%	-
<b>営業外収益</b>	<b>415</b>	<b>215</b>	<b>199</b>	<b>192.3%</b>
<b>営業外費用</b>	<b>398</b>	<b>241</b>	<b>156</b>	<b>165.1%</b>
<b>経常利益</b>	<b>83</b>	<b>40</b>	<b>43</b>	<b>207.7%</b>
経常利益率	0.3%	0.1%	+ 0.1%	-
<b>特別利益</b>	<b>1</b>	<b>258</b>	<b>257</b>	<b>0.5%</b>
<b>特別損失</b>	<b>28</b>	<b>75</b>	<b>46</b>	<b>38.2%</b>
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>55</b>	<b>223</b>	<b>167</b>	<b>25.0%</b>
法人税、住民税及び事業税	2	390	388	0.6%
法人税等調整額	565	342	223	165.2%
法人税等合計	563	48	611	-
少数株主利益	130	115	15	113.1%
<b>四半期純利益</b>	<b>488</b>	<b>59</b>	<b>429</b>	<b>822.5%</b>
四半期純利益率	1.5%	0.2%	+ 1.3%	-

## 営業利益以下のポイント

営業外収益 (前同差+199百万円)

営業外費用 (前同差+156百万円)

システムサービス解約収入  
(+143百万円)と解約損(+137百万円)の  
発生(ヴィクサス)

法人税等 (前同差 388百万円)

利益の減少に伴う税額の減少  
(サイバネット等)



# 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2011年3月期 1Q 期末	2010年3月期 期末	前期末差
<b>流動資産</b>	<b>52,956</b>	<b>55,306</b>	<b>2,349</b>
現金及び預金	16,844	16,741	103
受取手形及び売掛金	24,689	27,215	2,525
その他	11,422	11,350	72
<b>固定資産</b>	<b>112,496</b>	<b>113,544</b>	<b>1,048</b>
有形固定資産	78,330	78,375	45
無形固定資産	12,323	12,424	100
投資その他の資産	21,842	22,744	902
繰延資産	2	-	2
<b>資産合計</b>	<b>165,455</b>	<b>168,850</b>	<b>3,395</b>
<b>流動負債</b>	<b>51,238</b>	<b>52,462</b>	<b>1,224</b>
買掛金	6,526	8,701	2,174
短期借入金・1年内返済予定の長期借入金	31,697	31,216	480
未払費用	7,289	5,854	1,434
未払法人税等	113	702	589
その他	5,611	5,987	376
<b>固定負債</b>	<b>31,222</b>	<b>33,090</b>	<b>1,868</b>
長期借入金	22,404	24,202	1,797
その他	8,817	8,888	70
<b>負債合計</b>	<b>82,460</b>	<b>85,553</b>	<b>3,092</b>
<b>純資産合計</b>	<b>82,994</b>	<b>83,297</b>	<b>303</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>165,455</b>	<b>168,850</b>	<b>3,395</b>

## 貸借対照表のポイント

### 売掛金・買掛金

季節要因による売掛金、買掛金の減少

投資その他の資産(前期末差 902百万円)  
投資有価証券の評価差益の減少

未払費用(前期末差 + 1,434百万円)  
冬期賞与引当額の増加

長期借入金(前期末差 1,797百万円)  
返済に伴う減少





# ● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2011年3月期 1Q 実績	2010年3月期 1Q 実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,725	3,474	251
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,637	94	1,732
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,074	3,678	1,604
現金及び現金同等物の増減額	18	95	114
現金及び現金同等物の期首残高	16,687	25,465	8,778
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	85	-	85
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>16,790</b>	<b>25,369</b>	<b>8,578</b>

## キャッシュ・フローのポイント

**営業活動によるキャッシュ・フロー**  
ほぼ前年並みの水準となりました。

**投資活動によるキャッシュ・フロー**  
データセンター関連の投資や自社プロダクトの開発等の支出を行いました。前年は、有価証券の売却により同キャッシュ・フローがプラスとなり、前年同期差は 1,732百万円となりました。

**財務活動によるキャッシュ・フロー**  
前年に引き続き、借入金の返済を行いました。





# ● 連結ソフトウェア開発関連の受注高・受注残

(単位:百万円)

2011年3月期 1Q実績									
	前期末受注残	前同比	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残	前同比	
ソフトウェア開発関連 合計	26,868	109.0%	23,908	85.1%	25,554	89.8%	25,222	103.8%	
組込系ソフトウェア開発	8,107	98.9%	8,964	101.0%	8,922	95.7%	8,149	105.1%	
業務系ソフトウェア開発	13,230	122.8%	9,700	74.4%	10,388	91.0%	12,543	101.2%	
その他ソフトウェア関連	5,530	97.4%	5,243	84.7%	6,244	81.0%	4,529	108.9%	

## 受注高・受注残の状況

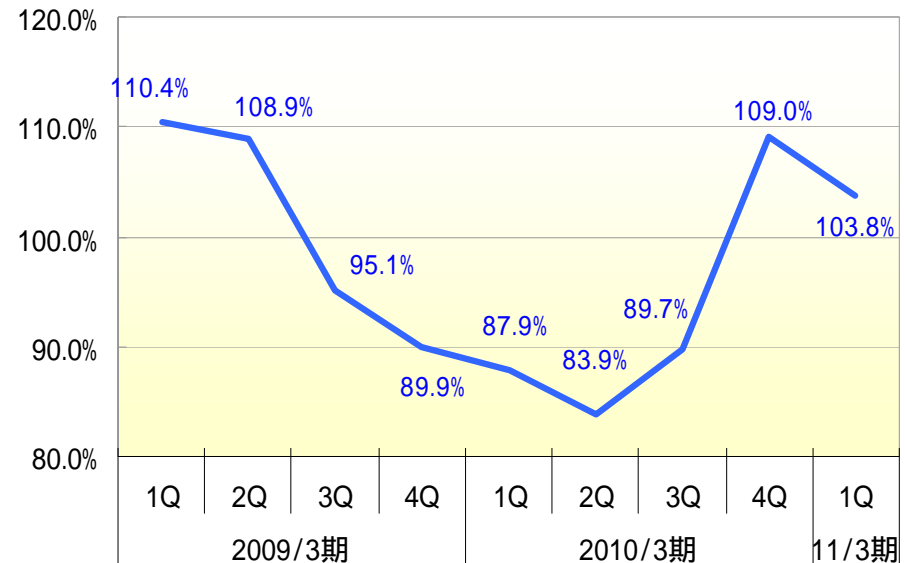
### 受注高の状況

組込系ソフトウェア開発は、通信制御関連以外の受注が旺盛だったため前年を上回りました。しかし業務系においては、前年に流通業の大型案件を受注したことによる反動等により、前年を大きく下回りました。

### 受注残の状況

受注高は上記の要因で前年同期比14.9%の減少となったものの、前年度に受注した大型案件が中長期に亘る案件であることから、期末受注残は3.8%の増加となりました。

連結ソフトウェア開発「受注残」前年比の推移



# トピックス

## 5/11 モバイルシンクライアントを発売(富士ソフト)

成長エンジン候補 “シンクライアント + SaaS” の第一弾

5月11日、富士ソフトにおいてモバイルシンクライアントの販売を開始しました。サーバからソフトウェア、シンクライアント端末にいたるまで、企業ニーズに合わせた最適な構成を提案・提供します。

また、既存のパソコンを無線環境下において手軽にシンクライアント化させるUSB端末『FSMobile® for Thin Client』を自社開発しました。従来、無線でシンクライアントを使用する場合、「シンクライアント端末」と「データ通信端末」の2つの端末を必要としていましたが、端末の単一化を図ることで、利用者の利便性を高めました。



FSMobile for Thin Client

## マイクロソフト関連ビジネスの状況(富士ソフト・東証コンピュータシステム)



みんなの会社情報トップページ

BPOSの受注好調 / Windows® Azure™を利用したWEBサービスを開始

富士ソフトにおいて、マイクロソフトのクラウド型グループウェア BPOS (Business Productivity Online Standard Suite) の販売拡大に注力しており、中堅企業を中心に受注・引き合いが好調に推移しています。

また、東証コンピュータシステムではWindows® Azure™ Platformを利用した会社情報提供サービス『みんなの会社情報』を開発し、7月1日にサービスを開始しました。

# トピックス

## ベルギーCAEソフトウェア開発会社「ノエシス社」を子会社化(サイバネットシステム)

PIDO<sup>1</sup>(ピド)ツールのグローバルスタンダードを目指すサイバネットシステムは、PIDOの代表的なツール「OPTIMUS(オブティマス)」の開発会社であるノエシス社を完全子会社化しました。

PIDOにおける最先端の製品開発力を有する同社と、25年以上のCAEソリューションのノウハウを有するサイバネットシステムとの一体化により、「OPTIMUS」の競争力を高め、PIDOツールとしてのグローバルスタンダード化を図ります。



**正式名称:** Noesis Solutions NV  
**本社所在地:** ベルギー王国  
**設立年月:** 2003年7月  
**資本金:** 6,710千円  
**売上高:** 134百万円(2009年12月期)  
**事業内容:** 最適設計支援ツール「OPTIMUS」の開発、販売、技術サポート

### 1:PIDO(Process Integration Design Optimization)ツール

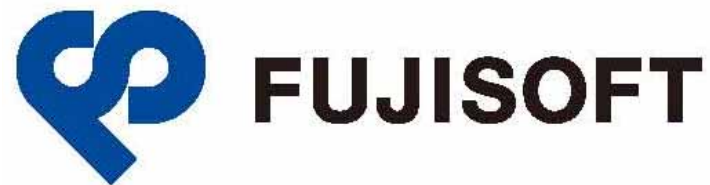
CAD/CAEを活用した製品開発プロセスを自動化・統合化・最適化することで、品質向上、開発期間の短縮、開発コストの削減に貢献する全体最適化ソリューションツール。

## 「アイデア・コンサルティング」を設立

ERP導入支援・コンサルティングのプロフェッショナルダイヤモンド富士ソフト株式会社(連結対象外)のERP導入部門を会社分割し、富士ソフトが100%出資して6月1日にアイデア・コンサルティング株式会社(連結対象)を設立しました。今後、更にニーズが高まるERPやBI導入のコンサルティング会社として、事業の拡大を図ります。



**商号:** アイデア・コンサルティング株式会社  
**所在地:** 東京都千代田区神田松永町19  
**設立:** 2010年(平成22年)6月1日  
**資本金:** 2億円  
**役員:** 取締役会長 三角 恒明  
 代表取締役社長 掛江 正昭 ほか  
**資本系列:** 富士ソフト株式会社(100%)



本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、あわせてご理解いただきますようお願い申し上げます。